

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2012.10.5(金)
No. 196

勤務時間管理はタイムカードで

定数内臨採者の削減と本採用者の配置を

現在、労働安全衛生週間の取り組みとして、学校では在校時間調査の取り組みが実施されています。「この忙しいのに」と思いかも知れませんが、重要な調査です。市教組は1学期の団体交渉で教職員の長時間過密労働の実態を把握することを要求しました。市教委は重い腰をやっとあげました。

勤務時間の管理を

文部科学省は2006年4月3日付通知「労働時間の適正な把握について」で、次のことを遵守することを求めています。

- 1 校長は、始業・終業時刻を自ら確認することにより確認し、記録すること。
 - 2 タイムカード、ICカード等の客観的な記録を基礎として確認し、記録すること。
 - 3 その記録は3年間保存すること。
- しかし市教委の姿勢は



全く意に介せず、という実態でした。

【組合】タイムカードを導入しない理由は何か。

【教委】タイムカードの導入には一台約5万円の予算(総額で800万)が必要となる。現状ではその予算の確保は難しい。

【組合】必要な予算ならその確保に努力すべきではないか。

【教委】現状では難しい。他の政令市と比較し、さいたま市は教職員の勤務時間の把握・管理と健康管理で施策が遅れていることは明白です。過去の団体交渉で「校長の現認は難しいと考える」と回答しています。であればタイムカードの導入は待ったなしです。

労安体制の確立を

法律に労働安全衛生法

成する委員会を設置し、教職員の健康管理と労働環境の改善の取り組みを法に基づいて進めるよう要望しました。

政令市の中では仙台市や堺市をはじめ10政令市が市教委と教職員組合の双方から委員会を出して労働安全衛生委員会を作っていることを指摘し、労使対等の関係で、組合からも代表を入れることを主張しました。

最後に労安問題について定期協議に応じることを要望し、市教委は話し合いをすることを約束しました。

全国学テの質問紙調査利用止めよ

文科省は、悉皆の全国学テを中止し、抽出での実施に変更しました。しかし、自治体が希望すれば問題用紙を当該自治体の学校に直送するとして

【時間外勤務で割振り変更簿に記入する勤務の内容】

職員会議、研修会、学年会、分掌の会議、校内委員会、生徒指導用務、教育相談、三者面談、保護者面談、家庭訪問、研究授業の指導案作成や集団(学年や複数のメンバー)での教材研究などの準備、登校指導、駅伝・サッカー・バスケットなどの大会の練習、金管の練習等、学校運営上必要な用務です。

います。市教委は抽出校以外の小6と中3全員に「質問紙調査を利用する」とし、国の質問紙の50項目を38項目に減らして実施しています。子どもに要らぬ不安や負担を強いる必要はありません。

少年自然の教室に看護師配置を

交渉の中で、市教委は自然の家の宿泊行事で看護師を配置するには、160校×看護師1名で400万円かかることを初めて明らかにしました。また勤務体系を含め研究が必要であると回答しました。今まで必要な予算を明らかにしなかったのに比べ前進しています。

保健室にオンラインのパソコンを

埼教組看護教員部の調査によると、県内の3分の1の自治体で、保健室にオンラインのパソコンを配置しています。日本スポーツ振興センターへの報告等がインターネットで行われていることを考えてみても、また保健室を空けて職員室でパソコンに入力しているさい

ることは明白です。早急に保健室にオンラインのパソコンを配置すべきです。

定数内臨採者の削減と本採用者を

小中学校に勤務している臨時的任用教職員は5月1日時点で小学校437名、中学校382名となっています。定数内臨採者を減らし、本採用の採用、配置を強く要求しました。市教委は新採用教員を中学校で10名増やし100名、小学校は160名としたこと、また定数内臨採者の削減の努力を表明しました。

学校配当予算の増額を

市教委は予算のマイナスイシューリングが進む中、学校運営に必要な予算の確保に努めている、と回答しました。

